

KDDI ホスティングサービス（G120, G200）

活用ガイドブック
AJAX利用ガイド
（ご参考資料）

rev.1.0

KDDI 株式会社

－ 目次 －

1. はじめに.....	3
2. 開発環境の準備.....	3
2.1 仮想ディレクトリーの作成.....	3
2.2 ASP.NET 2.0 AJAX Extensions 1.0 のインストール.....	8
2.3 ASP.NET AJAX のWeb アプリケーション開発環境準備.....	20
3. AJAX Web アプリケーションの作成	22
3.1 デザイン画面を開く.....	23
3.2 AJAX コンポーネントを配置1.....	24
3.3 ASP.NET コンポーネントの配置.....	28
3.4 VisualBasic スクリプトコードの入力.....	30
3.5 AJAX コンポーネントを配置2.....	32
3.6 作成したWeb コンテンツの保存.....	39
4. Web コンテンツのアップロード.....	40
5. Web サイトの表示.....	40

1. はじめに

このAJAX 利用ガイドでは Visual Studio 2005 Express Edition に含まれるVisual Web Developer 2005 とホスティングサービスにて提供しておりますデータベースを活用した簡単なAJAX サイトの構築方法について記載致します。

事前に、Visual Web Developer 2005 のインストールが必要になります。

又、パッケージ版のMicrosoft Visual Studio 2005 Standard Edition、Microsoft Visual Studio 2005 Professional Edition 等を活用頂くと より高度な開発を行う事が出来ます。

Visual Web Developer 2005

<http://www.microsoft.com/japan/msdn/vstudio/express/vwd/>

※ご注意

AJAX や Microsoft Visual Studio の仕様やプログラミング方法などは、サポート対象外となります。
詳細については、書籍または Microsoft 社のサイト等をご活用ください。

2. 開発環境の準備

クライアント開発環境の準備 及び コントロールパネル でのWeb サーバーの設定について説明致します。

2.1 仮想ディレクトリーの作成

コントロールパネル にて、AJAX 用WEB コンテンツのファイルをアップロードする為の仮想ディレクトリーを作成します。

- ① コントロールパネル の左ペインにて [ドメイン名] - [ドメイン名の管理] を選択します。
右ペインより、アプリケーションを配置するドメイン名を選択します。

KDDI ホスティングサービス

サーバー管理 | アカウント管理 | 契約の選択

契約ID: [] ウェブスペース

メニュー

- ドメイン名
- ドメイン管理
- ウェブサイト
- eメール
- ユーザー
- 統計と分析

検索: ID: [] ドメイン名: [] ウェブホスティング: [] メールホスティング: [] 同期: [すべて] 有効: [すべて] []

新しいサブドメイン名の追加 サブドメイン名を表示しない

ID	ドメイン名 ▲	ウェブホスティング	メールホスティング	同期	有効
3169	kddi.collaby.com	Microsoft IIS 6.0 (ウェブスペース 125325)	Qmail	● (はい)	● (はい)
3439	testtest.kddi.collaby.com	Microsoft IIS 6.0 (ウェブスペース 125325)		● (はい)	● (はい)

合計 アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

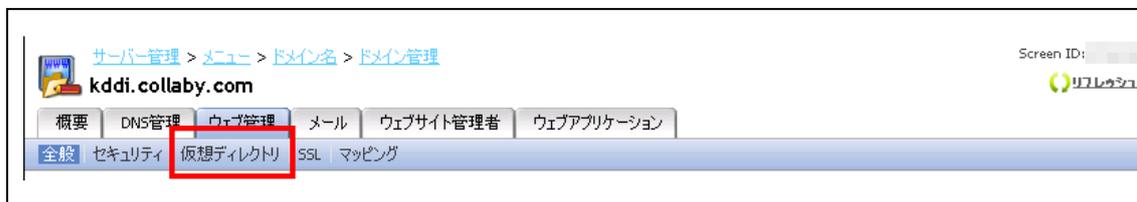
- ② 右ペインの [ウェブ管理] タブをクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理

kddi.collaby.com

概要 DNS管理 **ウェブ管理** メール ウェブサイト管理者 ウェブアプリケーション

- ③ 右ペインの [仮想ディレクトリ] をクリックします。



メモ：

仮想ディレクトリーとは、別の場所の物理ディレクトリーを、Web サイトのホームディレクトリーのサブディレクトリーとして割り当てることにより、あたかも、その場所に存在するように見せる方法。

- ④ [仮想ディレクトリーの追加]をクリックします。



- ⑤ 仮想ディレクトリーの追加画面が表示されます。[ディレクトリー名] [説明] を入力 又、
[ディレクトリーのタイプ] を選択しディレクトリーへのパスを入力します。[次へ] をクリックします。(説明欄は任意)

Screen ID: [REDACTED]

仮想ディレクトリーの追加

全般

ディレクトリー名: sample_ajax

説明:

ディレクトリーのタイプ:

ディレクトリーへのパス:
sample_ajax
(物理的なディレクトリーへのパスは、ウェブスペース内の「/wwwroot」ディレクトリーが基準になります。ディレクトリーが存在しない場合は自動的に作成されます。)

転送:
http://
(転送先URL)

次へ >> キャンセル

メモ:

ディレクトリーのタイプとは

このリソースへの接続時に使用される 実際のコンテンツの場所になります。

⑥ 仮想ディレクトリーの [権限] [認証] の設定を行います。各項目にチェックを入れた後 [完了] をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > kddi.collabv.com > ウェブ管理 > 仮想ディレクトリ

Screen ID: [] リモートデスクトップ

仮想ディレクトリーの追加

権限

スクリプトソースアクセス:

読み取り:

書き込み:

ディレクトリーの参照:

実行アクセス許可: スクリプトのみ

認証

匿名アクセス:

統合Windows認証:

ダイジェスト認証:

基本認証:

<< 戻る 完了 キャンセル

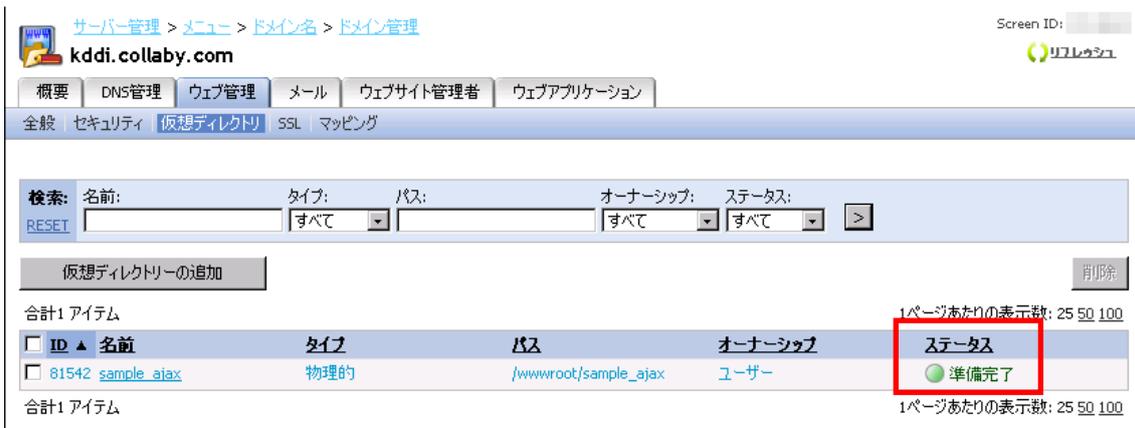
□ 権限

- スクリプトソースアクセス : スクリプトソースへのアクセス可／不可を選択。
- 読み取り : ファイルの読み取り可／不可を選択。
- 書き込み : ファイルの書き込み可／不可を選択。
- ディレクトリーの参照 : 仮想ディレクトリーの内容を参照可／不可を選択。
- 実行権限 : 『なし』／『スクリプトのみ』／『スクリプトおよび実行ファイル』より、実行権限を選択。

□ 認証

- 匿名アクセス : 全てのユーザーのアクセスを許可する事が可能。
- 統合されたWindows 認証 : ユーザー情報は暗号化されて送信される認証方法。
有効なWindows NT ユーザーアカウントに合致する情報を入力したユーザーのみ認証される。FTP アカウントを利用した認証が可能。
- ダイジェスト認証 : 解読不能な方法でユーザー情報を送信される認証方法。
有効なWindows NT ユーザーアカウントに合致する情報を入力したユーザーのみ認証される。仮想ディレクトリに対する FTP アカウントを利用した認証が可能。
- ベーシック認証 : 基本的な認証方式。
有効なWindows NT ユーザーアカウントに合致する情報を入力したユーザーのみ認証される。FTP アカウントを利用した認証が可能。

⑦ ステータスが 準備完了になると仮想ディレクトリをご利用頂けます。



The screenshot shows the KDDI Collaby.com control panel. The breadcrumb navigation is "サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理". The page title is "kddi.collaby.com". The main navigation tabs include "概要", "DNS管理", "ウェブ管理", "メール", "ウェブサイト管理者", and "ウェブアプリケーション". The sub-navigation tabs are "全般", "セキュリティ", "仮想ディレクトリ", "SSL", and "マッピング".

Search filters: 検索: 名前: [], タイプ: [すべて], パス: [], オーナーシップ: [すべて], ステータス: [すべて].

Buttons: "仮想ディレクトリの追加" and "削除".

Summary: 合計1 アイテム. 1ページあたりの表示数: 25 50 100.

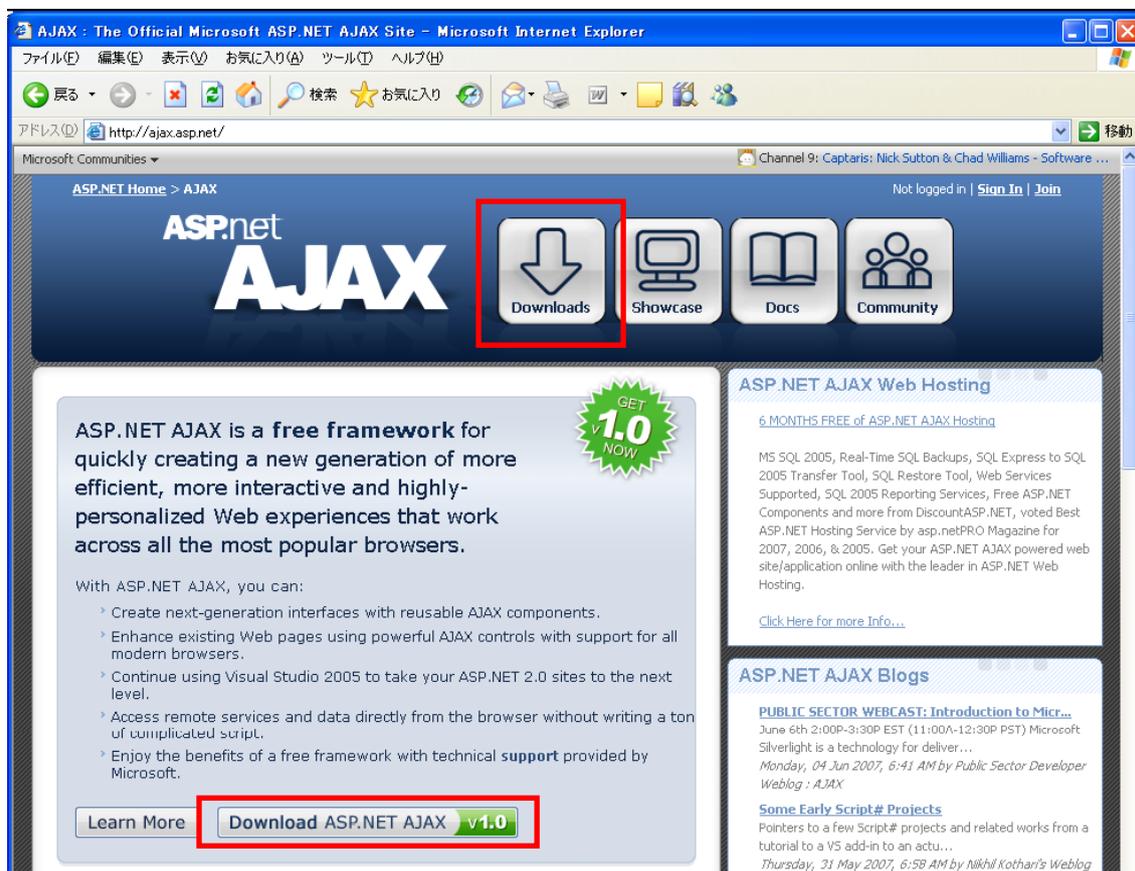
ID	名前	タイプ	パス	オーナーシップ	ステータス
81542	sample_ajax	物理的	/wwwroot/sample_ajax	ユーザー	準備完了

Summary: 合計1 アイテム. 1ページあたりの表示数: 25 50 100.

2.2 ASP.NET 2.0 AJAX Extensions 1.0 のインストール

マイクロソフトの AJAX の公式サイトより [ASP.NET 2.0 AJAX Extensions 1.0] をダウンロードします。

- ① ブラウザを起動し、ASP.NET AJAX の公式サイト <http://ajax.asp.net/> へアクセスします。
- ② [Downloads] 又は [Download ASP.NET AJAX v1.0] をクリックします。



- ③ ダウンロードメニューが表示されます。ASP.NET AJAX Essential Components 項目の [Download ASP.NET Extensions v1.0] をクリックします。

ASP.NET AJAX Essential Components

ASP.NET 2.0 AJAX Extensions 1.0

Download and install ASP.NET AJAX Extensions today! This download installs the framework for developing and running AJAX-style applications with either server-centric or client-centric development models and is fully supported by Microsoft. You must install this before installing the ASP.NET Futures release or the ASP.NET AJAX Control Toolkit.

[Download ASP.NET Extensions v1.0](#)

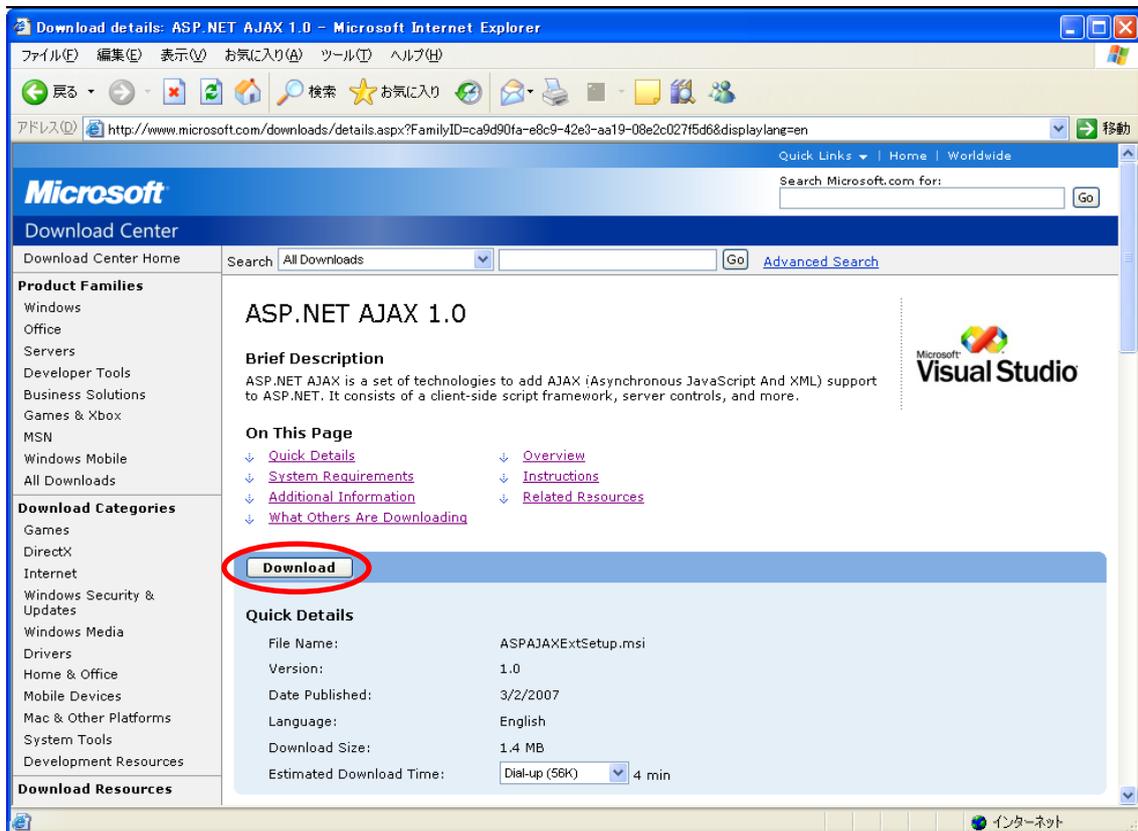
[Download the Documentation](#)

[View the Documentation](#)

When you download the documentation, be sure to open the Readme.htm file for setup instructions. The download includes working samples to help you get the most out of ASP.NET AJAX.

④ ASP.NET AJAX 1.0 のダウンロードページが表示されます。

[Download] をクリックします。



⑤ ASP.NET AJAX 1.0 のインストーラパッケージをダウンロードします。(ファイル名:

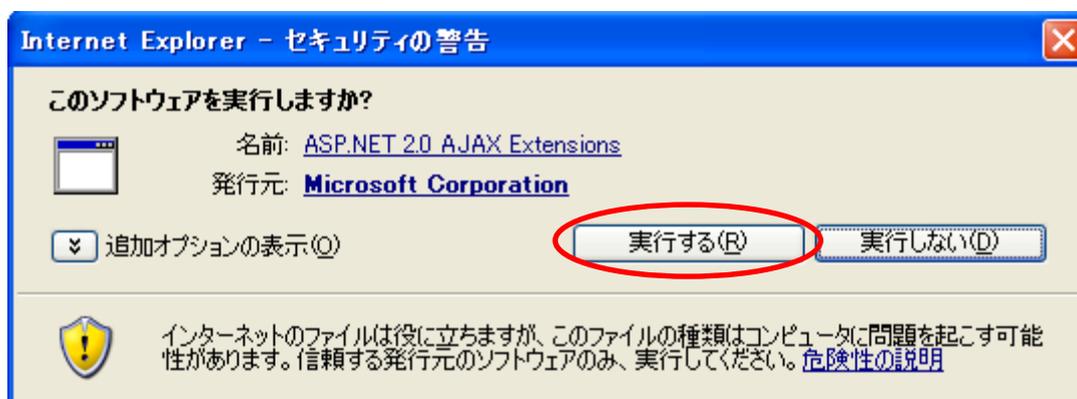
ASPAJAXExtSetup.msi)

[実行] をクリックすると、インストールが開始されます。

([保存] をクリックすると、保存場所を選択する画面が表示されます。)



- ⑥一旦保存せずに、インストールを実行する場合、セキュリティの警告画面が表示されます。
[実行する] をクリックします。



注意：

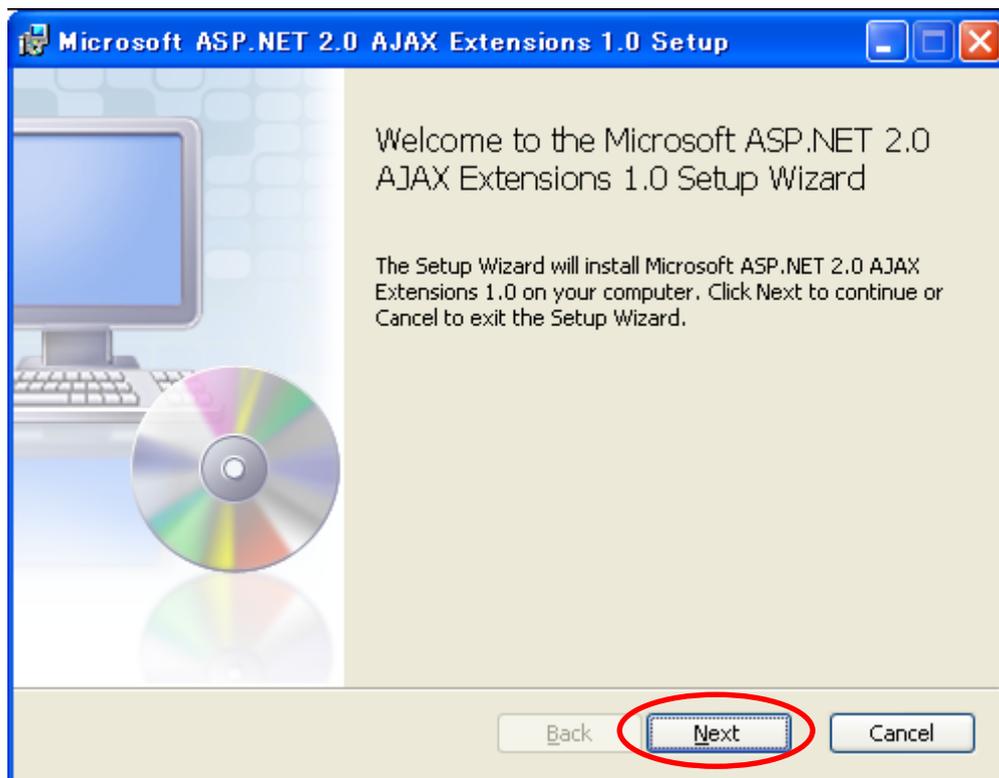
[ASP.NET 2.0 AJAX Extensions 1.0] をインストールするには、
.NET Framework 2.0 又は .NET Framework 3.0 が、お使いのWindows パソコンにインストールされている必要があります。インストールされていない場合、以下の警告画面が表示され、インストールする事が出来ません。



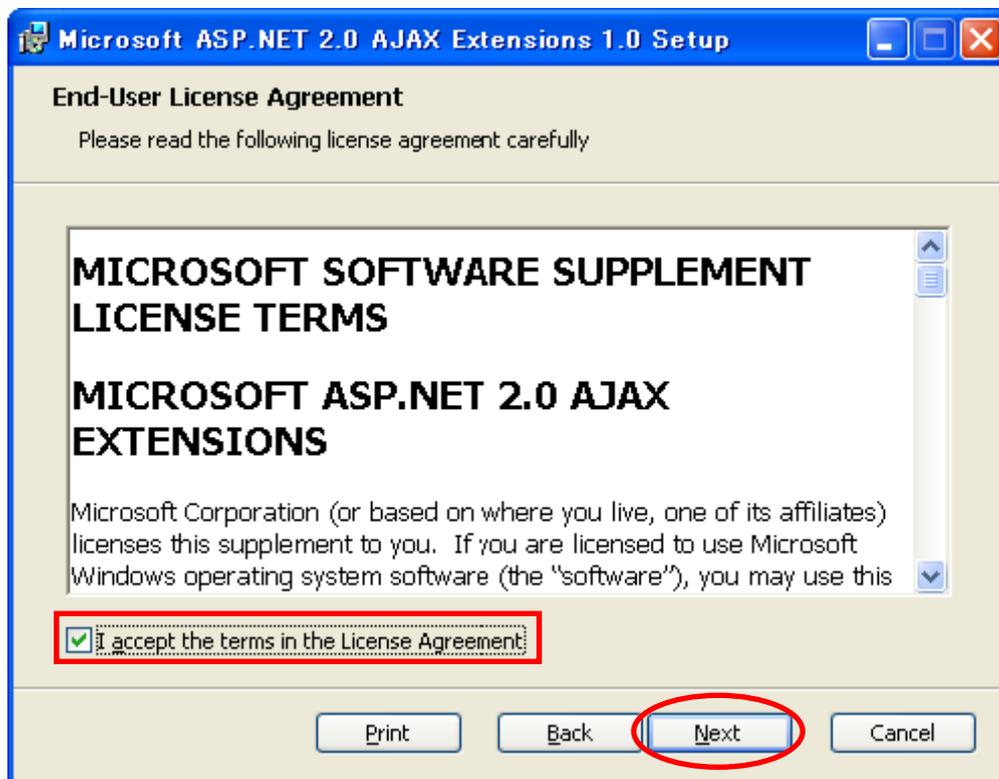
※ .NET Framework 2.0 をインストールする場合は、次のURL よりダウンロードしインストールします。

<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=76097>

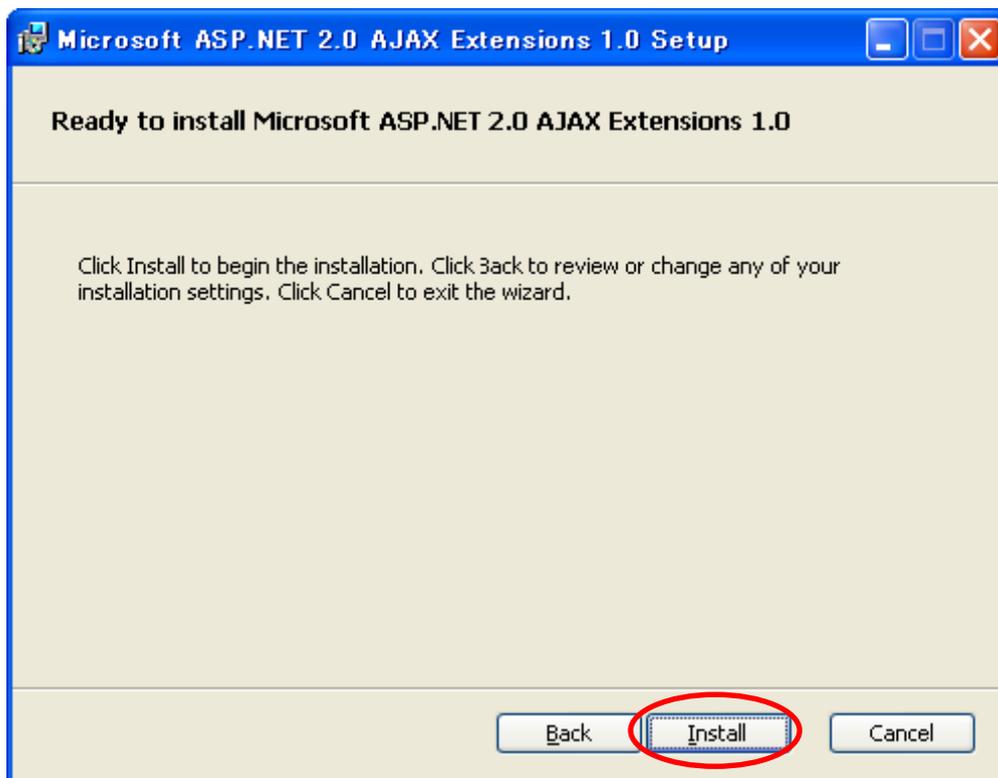
- ⑦ ASP.NET 2.0 AJAX Extensions 1.0 セットアップウィザードが起動します。[Next] をクリックします。



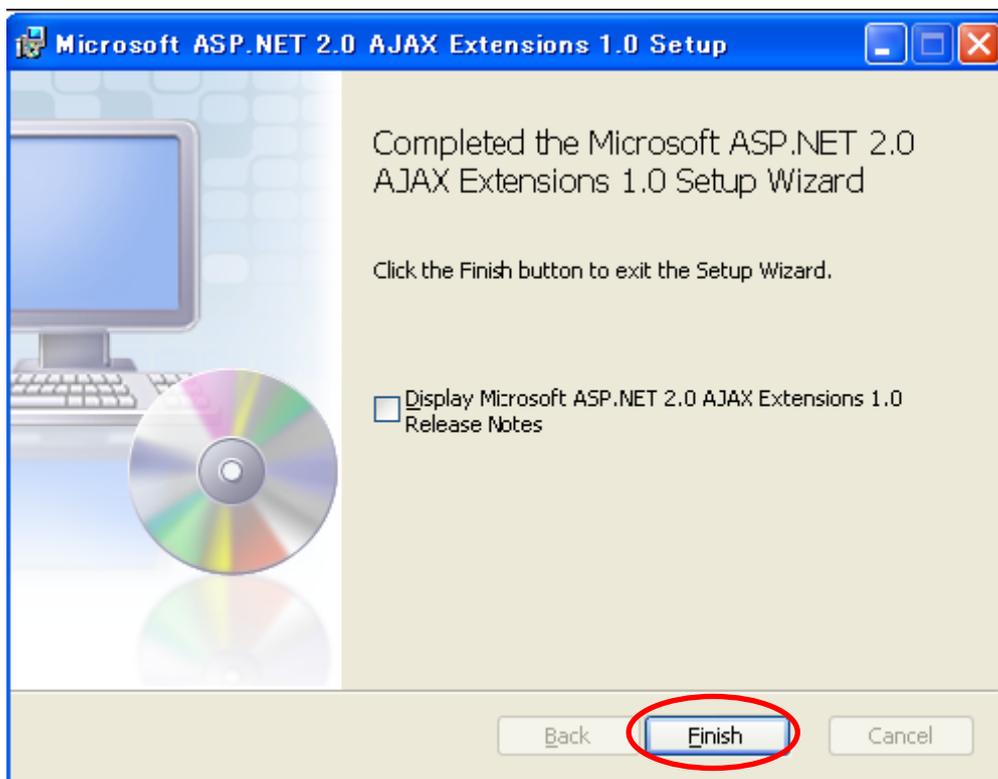
- ⑧ ソフトウェアライセンス契約の画面が表示されます。ライセンスに同意する場合は [I accept the terms in the License Agreement] のチェックボックスにチェックを入れ [Next] をクリックします。



- ⑨ インストールの準備ができました。[Install] をクリックすると、インストールが始まります。

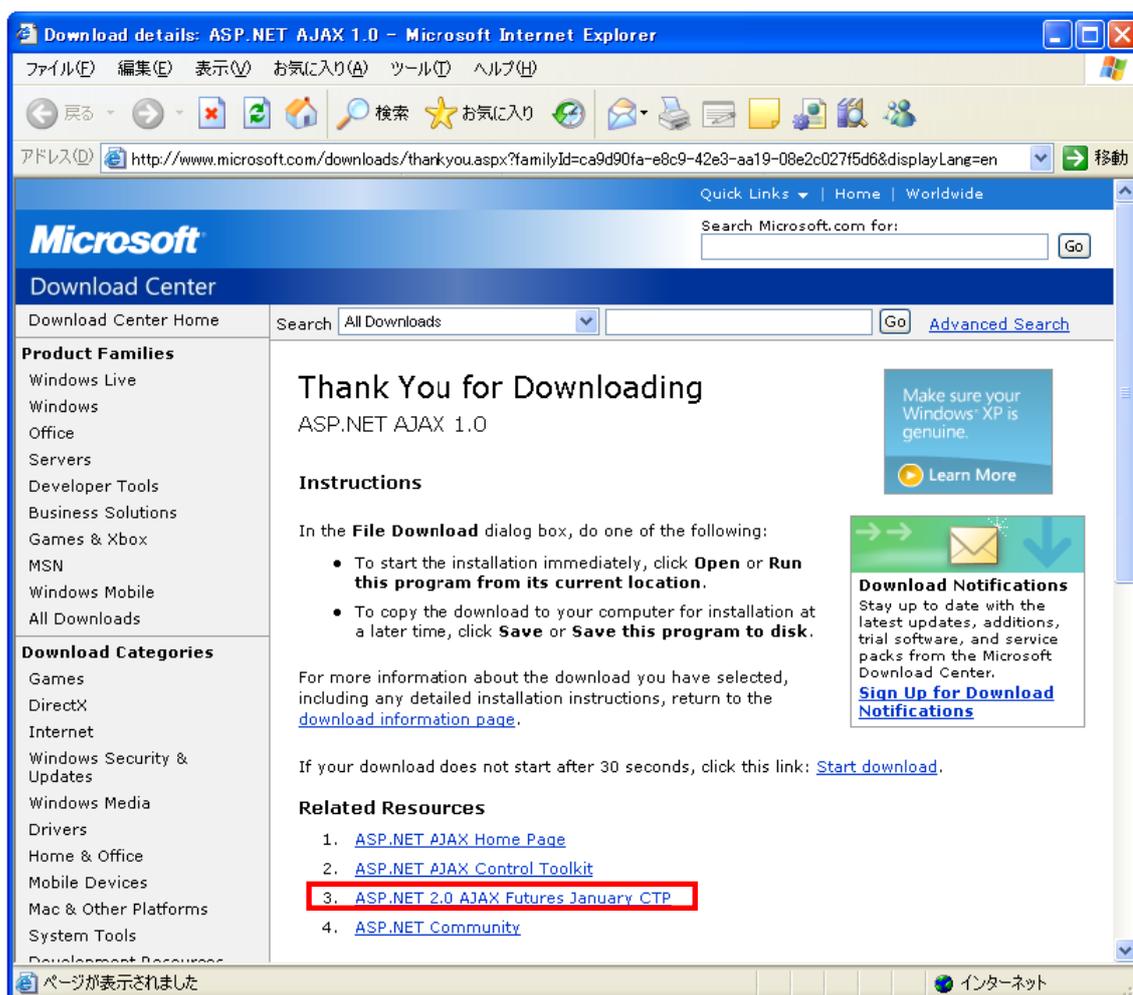


- ⑩ インストール完了画面が表示されます。[Finish] をクリックして下さい。



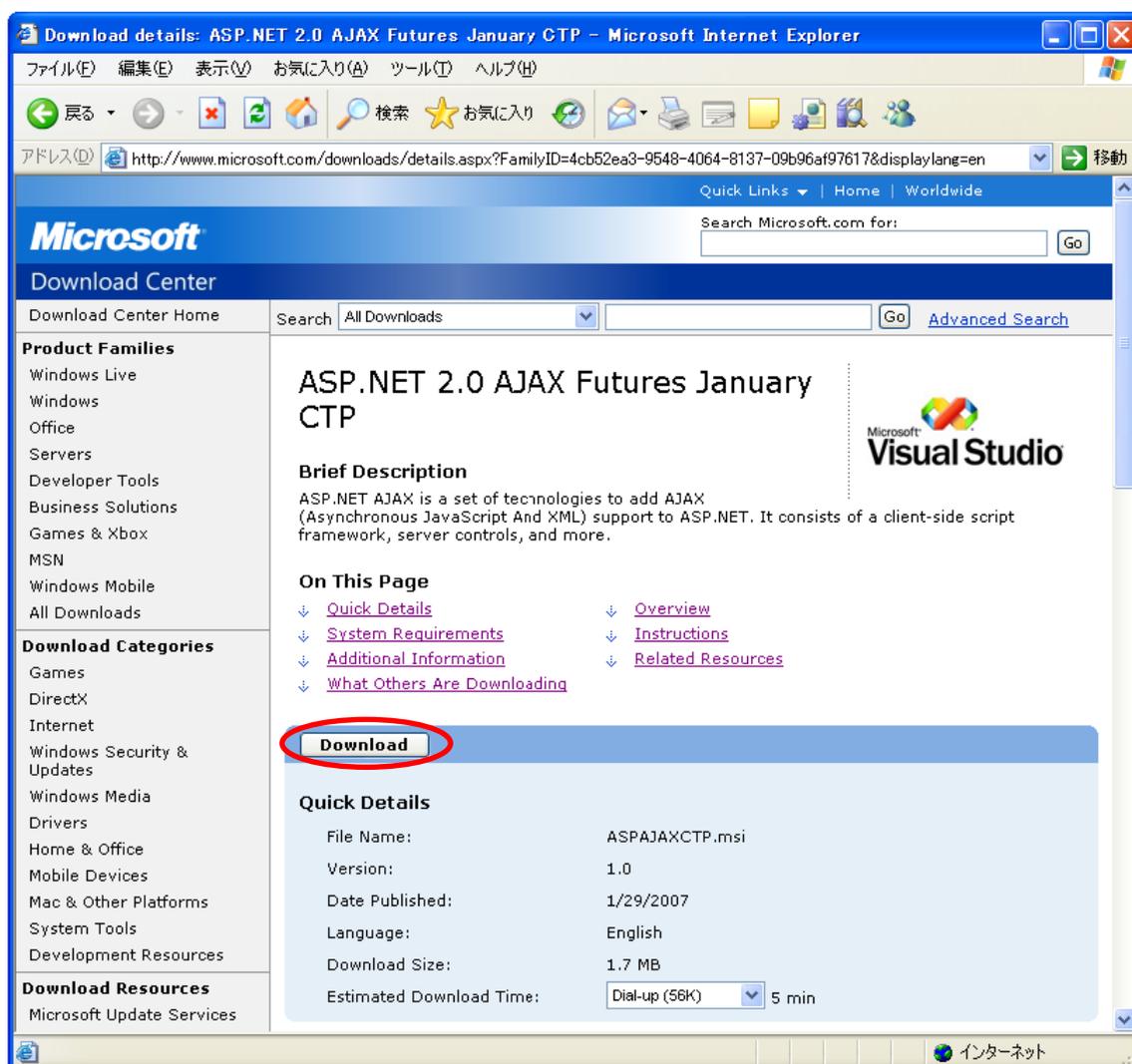
⑪ ダウンロードが終了すると、以下の画面が表示されます。

次に、「ASP.NET 2.0 AJAX Futures January CTP」のリンクをクリックします。



⑫ 「ASP.NET 2.0 AJAX Futures January CTP」のダウンロードページが表示されます。

[Download] をクリックします。

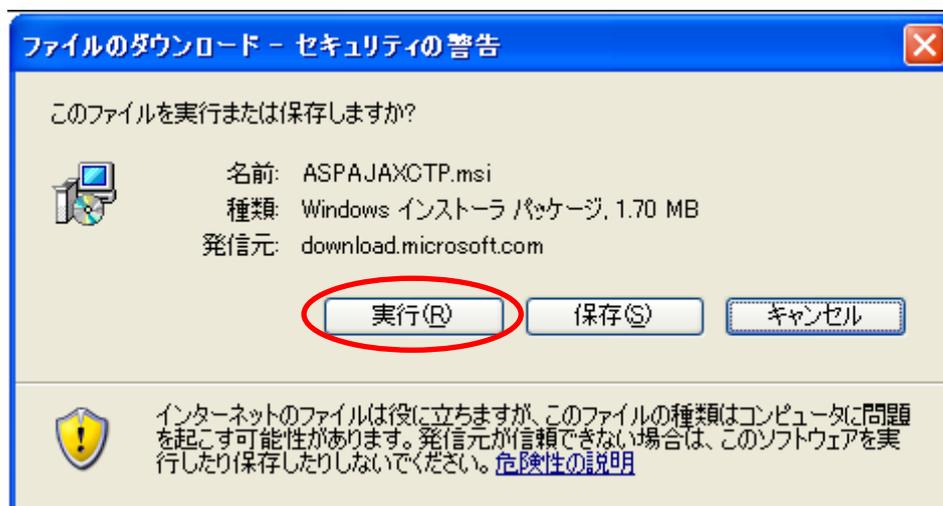


⑬ ASP.NET 2.0 AJAX Futures January CTP のインストーラパッケージをダウンロードします。

(ファイル名: ASPAJAXCTP.msi)

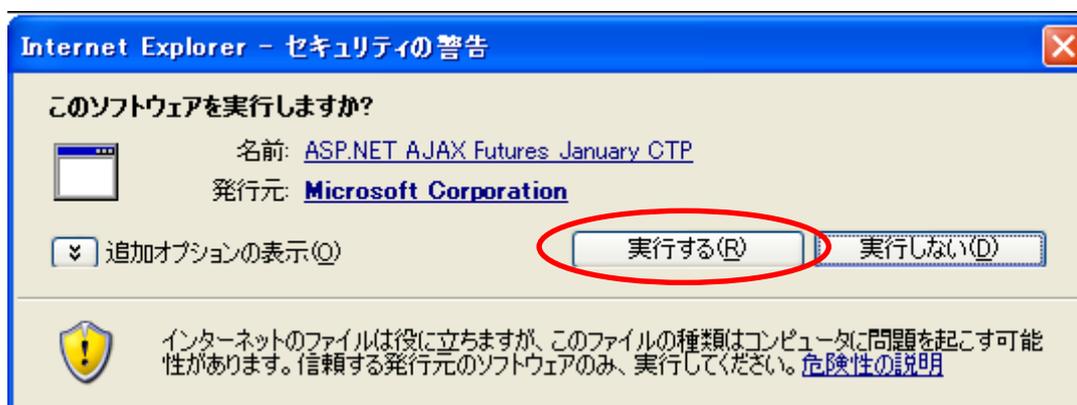
[実行] をクリックすると、インストールが開始されます。

([保存] をクリックすると、保存場所を選択する画面が表示されます。)

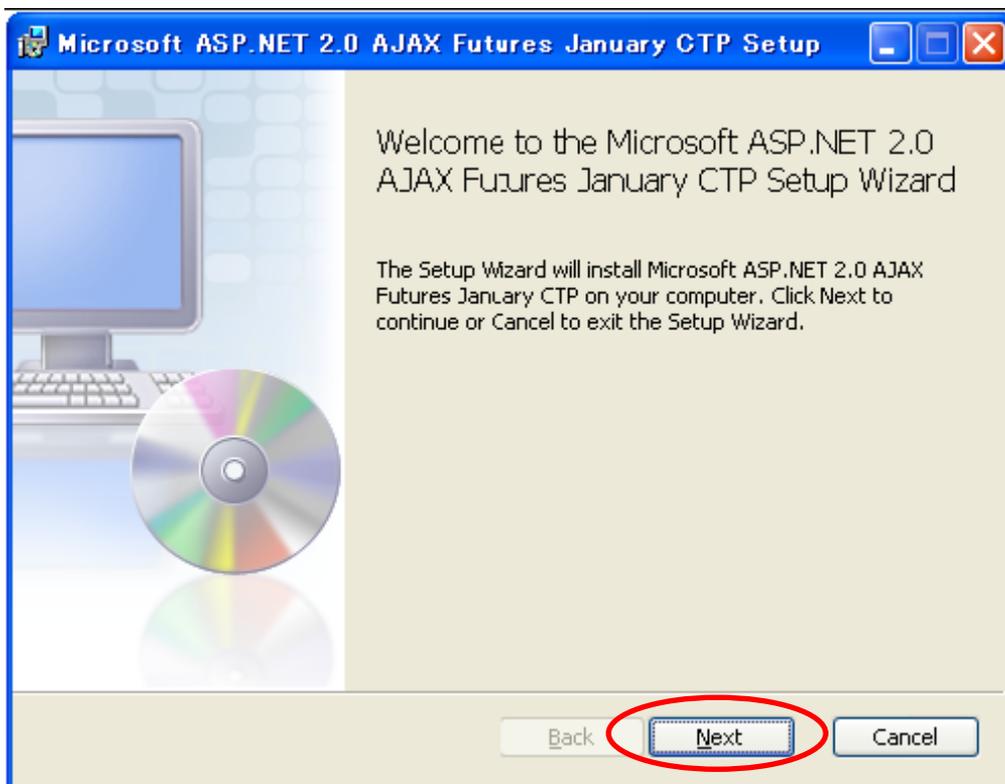


⑭ 一旦保存せずに、インストールを 実行する場合、セキュリティの警告画面が表示されます。

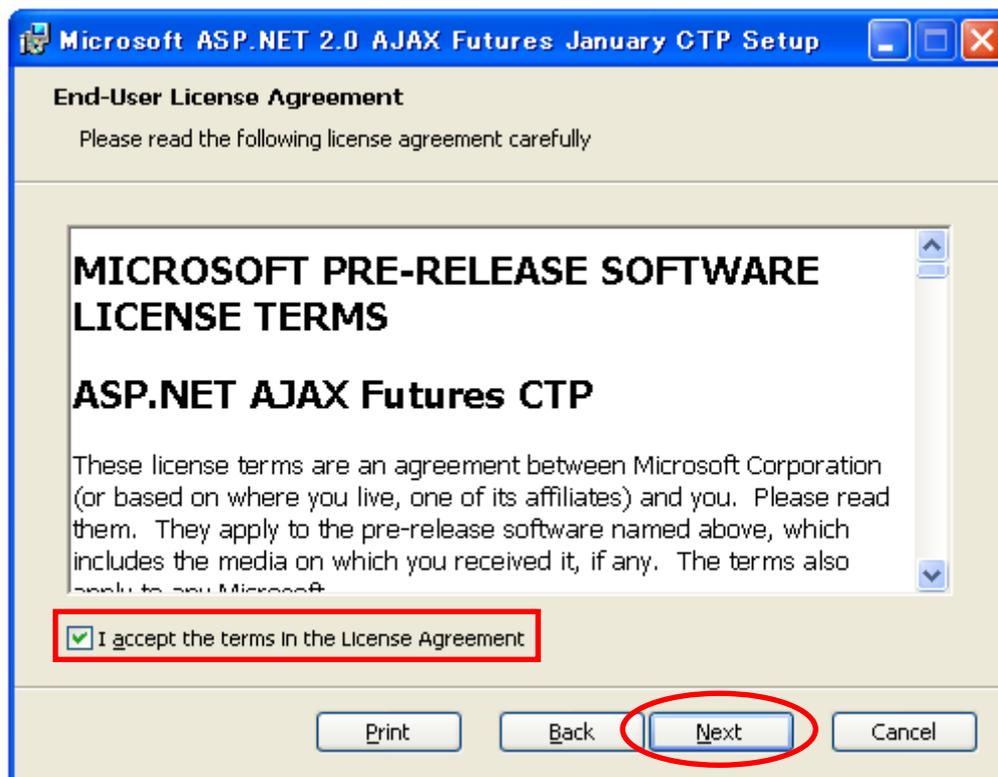
[実行する] をクリックします。



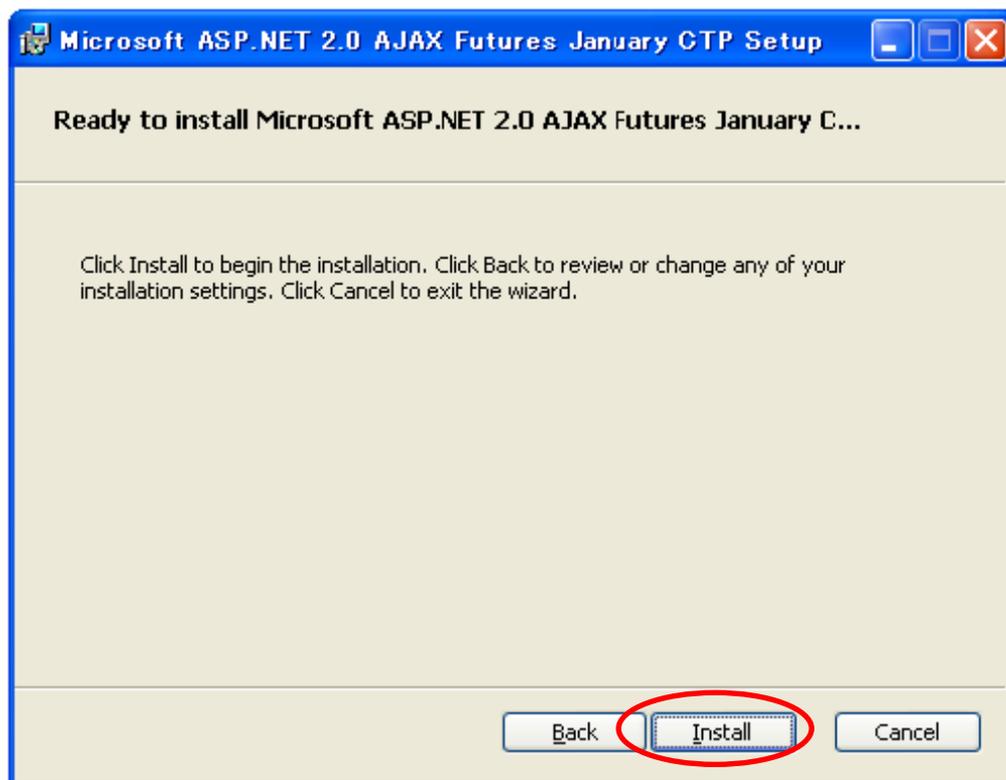
- ⑮ ASP.NET 2.0 AJAX Futures January CTP セットアップウィザードが起動します。[Next] をクリックします。



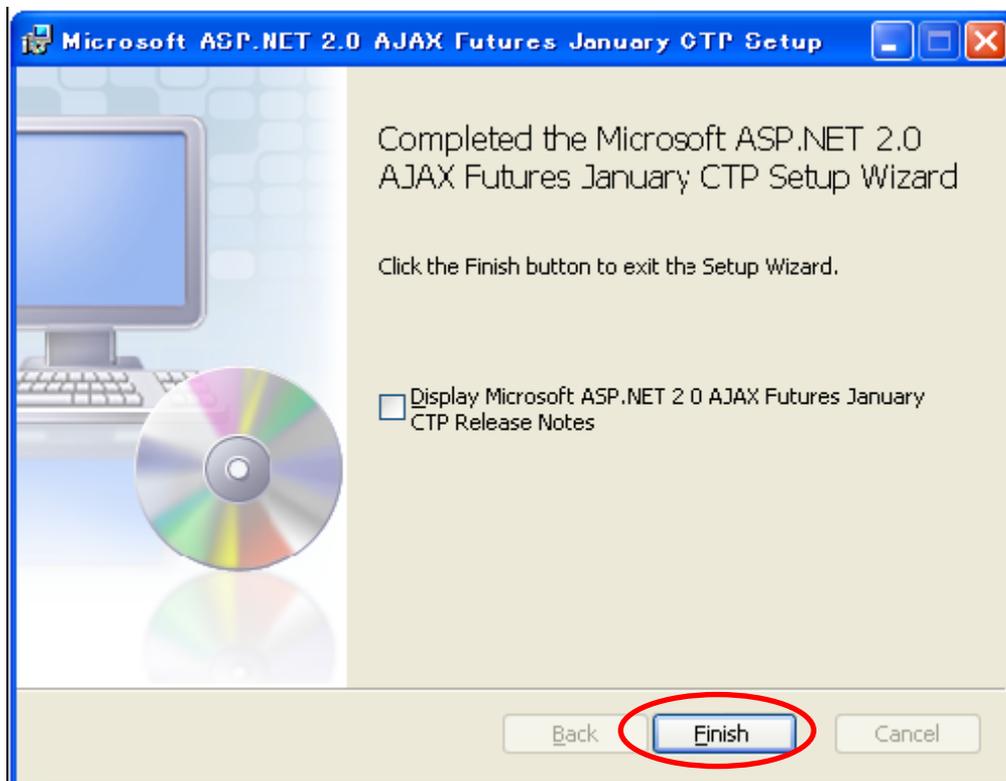
- ⑯ ソフトウェアライセンス契約の画面が表示されます。ライセンスに同意する場合は [I accept the terms in the License Agreement] のチェックボックスにチェックを入れ [Next] をクリックします。



- ⑩ インストールの準備ができました。[Install] をクリックすると、インストールが始まります。



- ⑪ インストール完了画面が表示されます。[Finish] をクリックして下さい。



2.3 ASP.NET AJAX のWeb アプリケーション開発環境準備

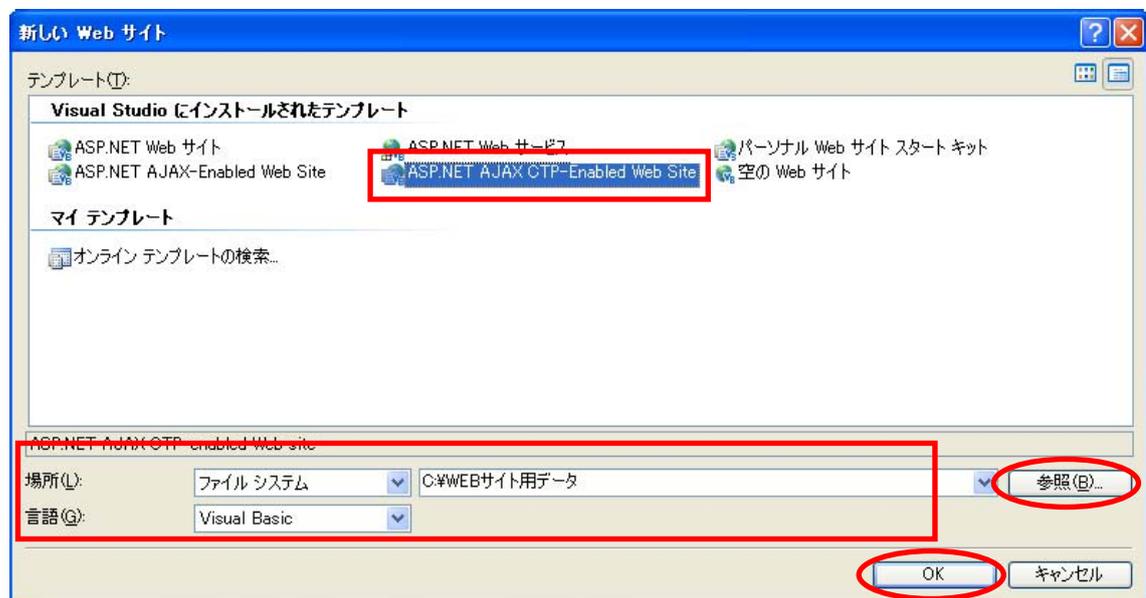
Visual Web Developer 2005 にて、Visual Basic を用いた ASP.NET の Web サイトを開発する環境を準備します。(Visual Studio 2005 の他のエディションも同様の操作手順となります。)

① Visual Web Developer 2005 を起動し [ファイル] - [新しいWeb サイト] を開きます。

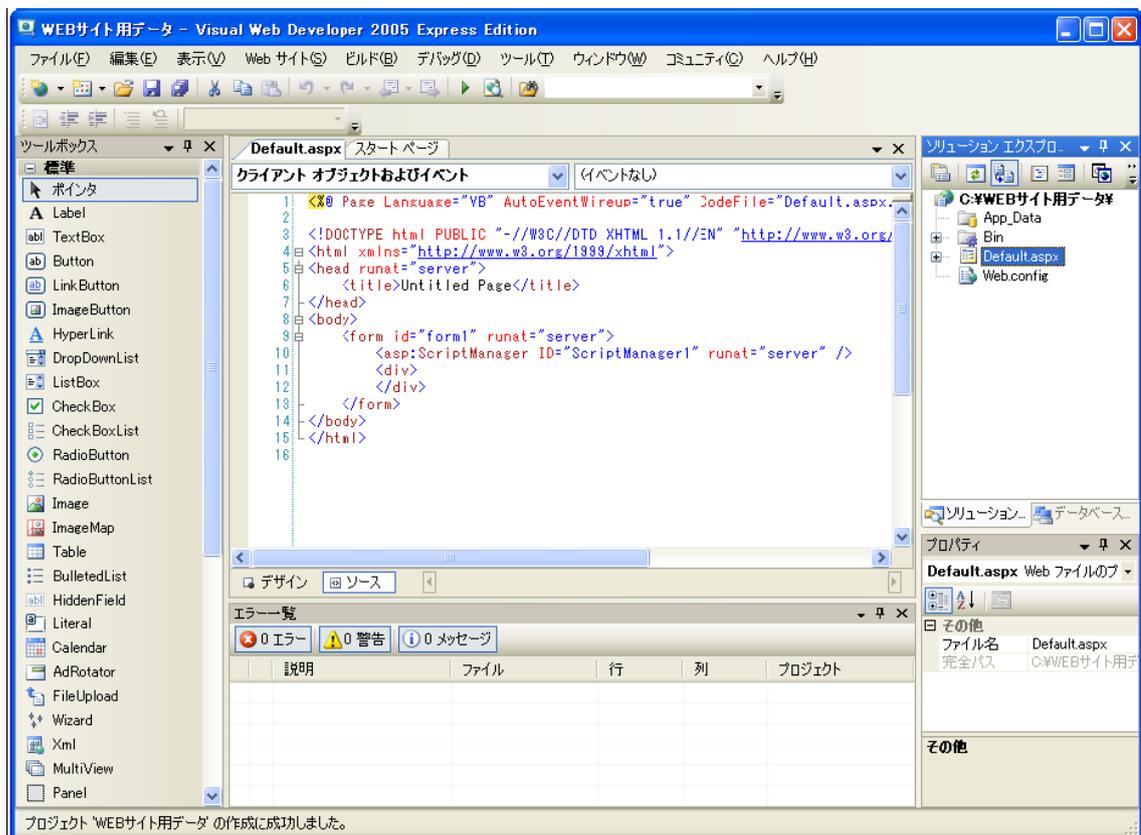


② テンプレートを選択します。「ASP.NET AJAX CTP-Enabled Web Site」を選択します。

次に、[場所] がファイルシステムになっている事を確認し [参照] をクリック AJAX ウェブサイト用データの一時保管場所のローカルドライブの場所を選択します。[OK] をクリックします。



③ 初期ページのソース画面が表示されます。



3. AJAX Web アプリケーションの作成

Web アプリケーションを AJAX 開発環境で作成します。

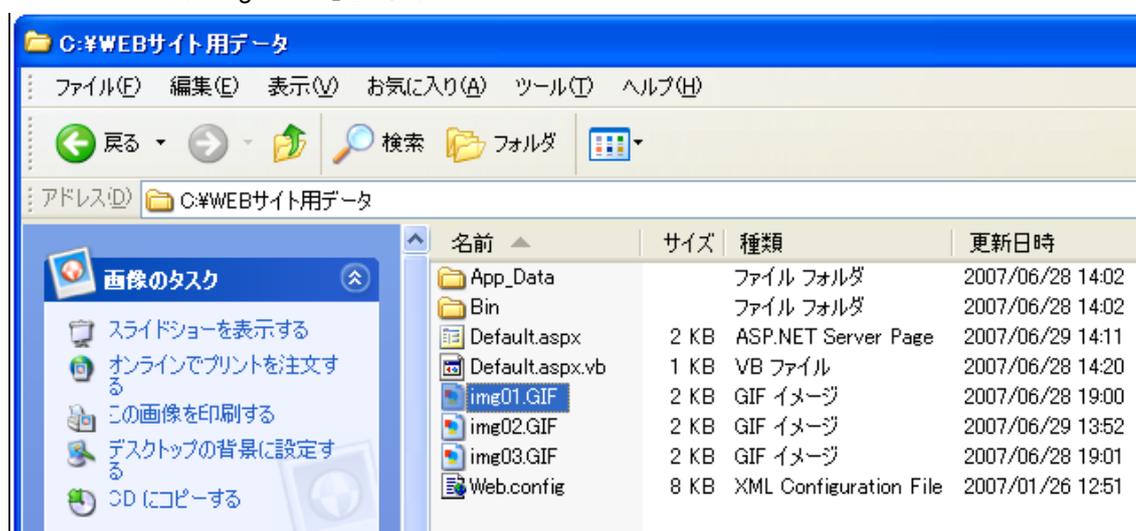
このサンプルを作成すると、以下の動作を確認する事が出来ます。

- ・AJAX を利用した時刻の変化
- ・AJAX を利用しない時刻の変化
- ・AJAX を利用した画像の移動

※AJAX を利用した画像の移動を行う為の画像を用意します。

用意した画像は、Web アプリケーションファイルが保存されている場所と同じディレクトリーに配置します。

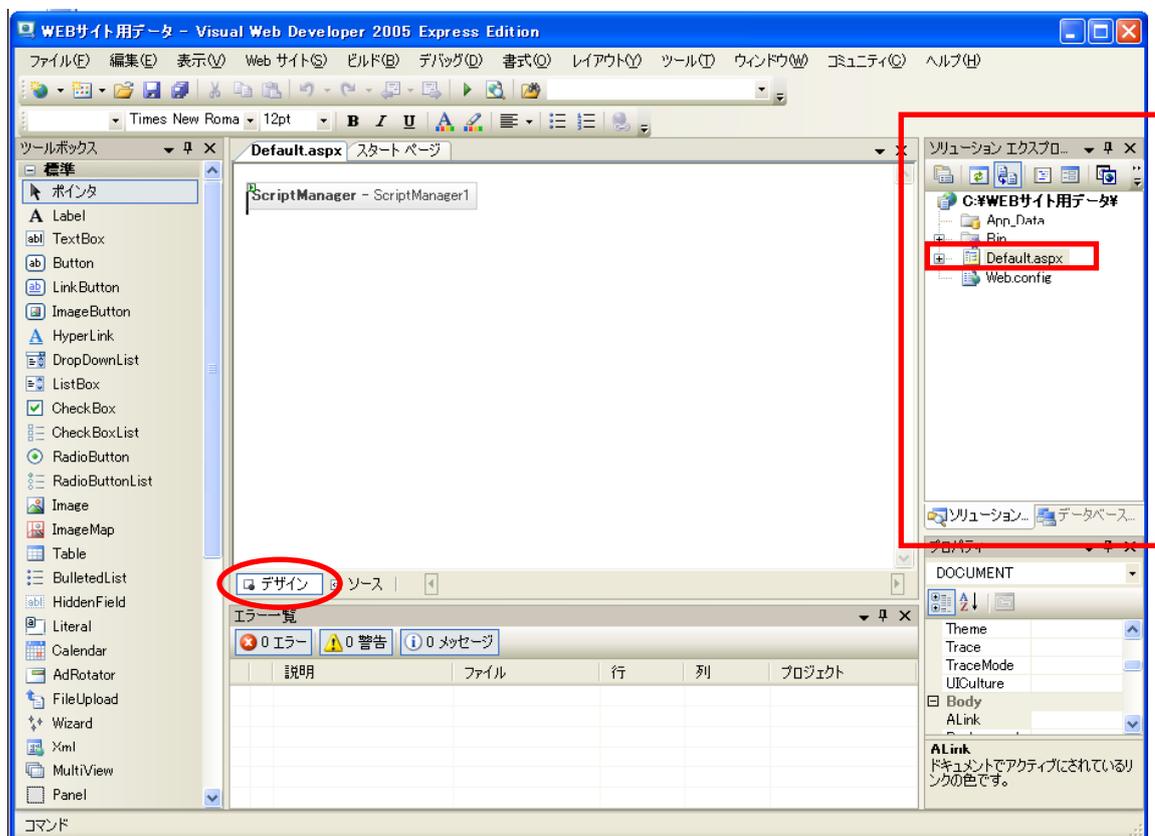
(このサンプルでは、「img01.GIF」を配置。)



3.1 デザイン画面を開く

Visual Web Developer 2005 を起動し、[ソリューションエクスプローラー] の画面の「Default.aspx」をダブルクリックし

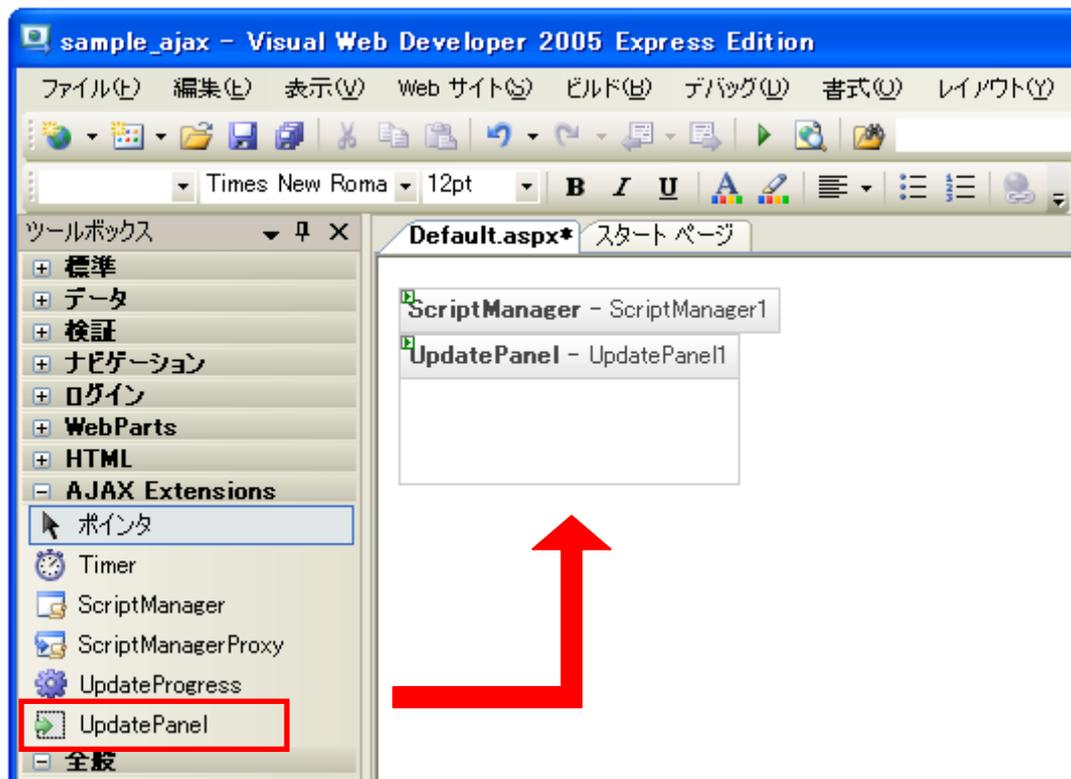
左下の「デザイン」ボタンをクリック、デザイン画面を表示します。



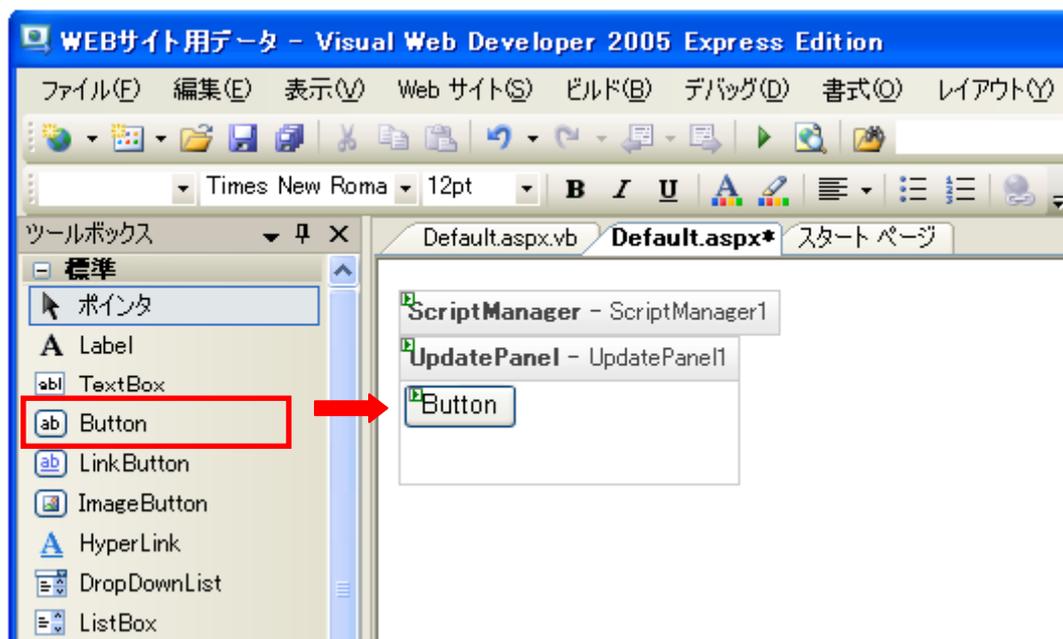
※ [ScriptManager] オブジェクトは、自動で生成されます。

3.2 AJAX コンポーネントを配置1

- ① ツールボックスの[AJAX Extensions] のメニューから [UpdatePanel] をドラッグ&ドロップで移動しデザイン画面上に「UpdatePanel」を配置します。(UpdatePanel は画面のちらつきを抑える効果があります。)



- ② ツールボックスの[標準] のメニューから [Button] をドラッグ&ドロップ でUpdatePanel 内に「Button」を配置します。



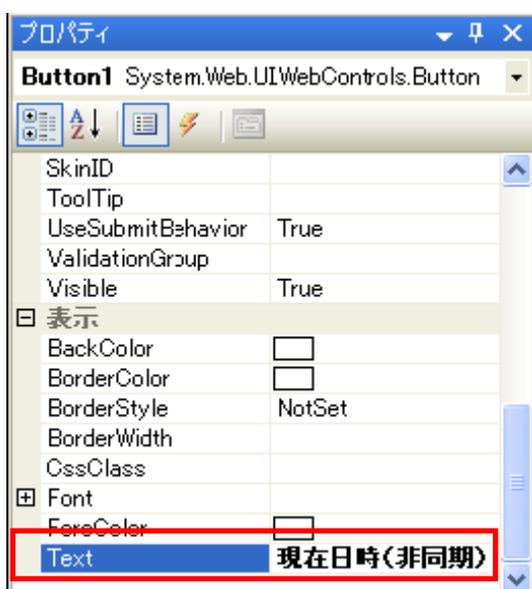
- ③ UpdatePanel 内に配置した「Button」上で右クリックし [プロパティ] を選択します。



- ④ 画面右下に「Button1」のプロパティが表示されます。



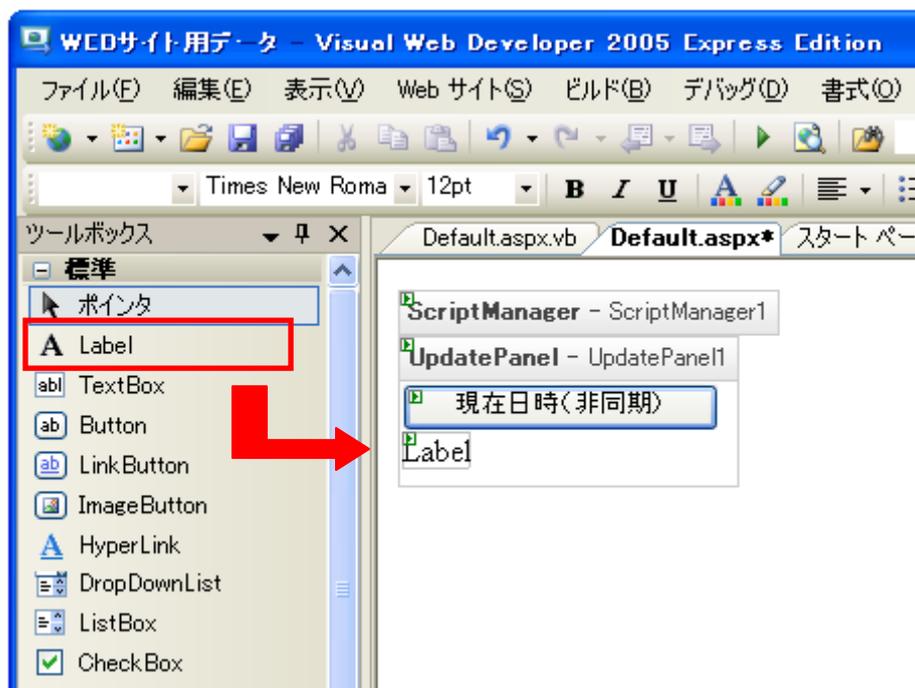
- ⑤ スクロールバーで下に移動し「Text」項目の右側のセルに「現在日時(非同期)」と入力します。



- ⑥ 「Button」の表示名が「現在日時(非同期)」に変更されます。



- ⑦ ツールボックスの[標準] のメニューから [Label] をドラッグ&ドロップ UpdatePanel 内に「Label」を配置します。

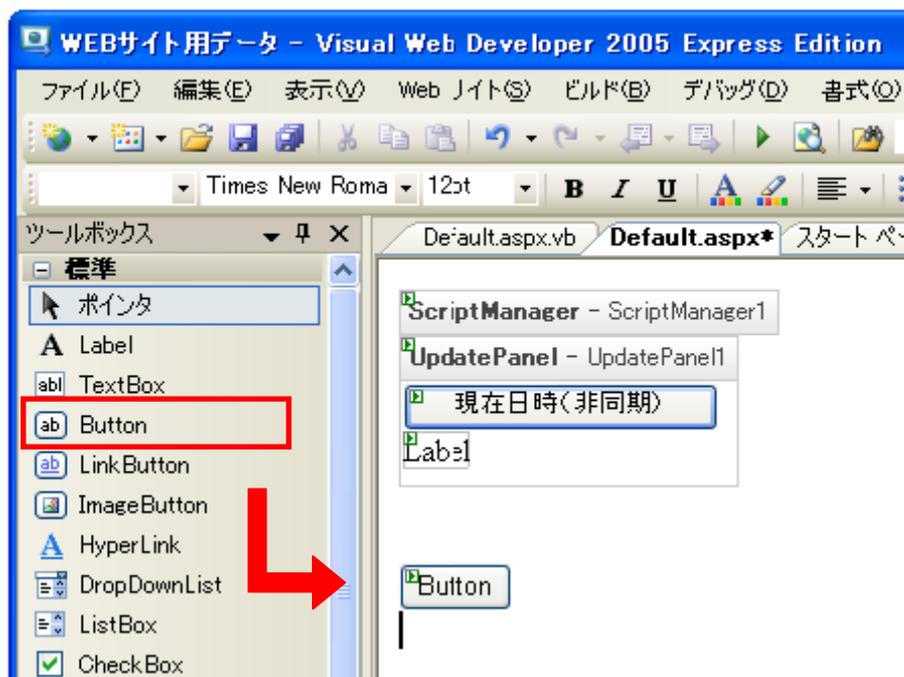


※[現在日時]ボタンの下に [Label] を配置する場合は、[Enter] キーを押して改行し調整します。

3.3 ASP.NET コンポーネントの配置

AJAX との違いを画面に表示させる為、ASP.NET のコンポーネントを配置します。

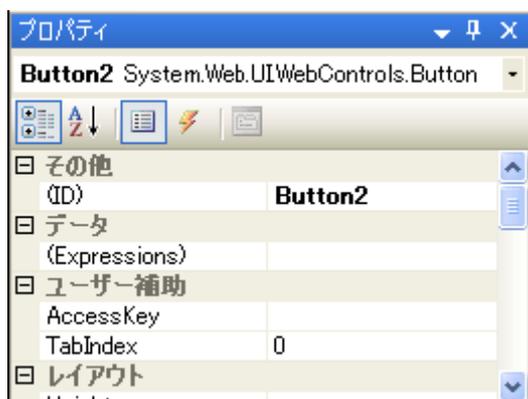
- ① ツールボックスの[標準] のメニューから [Button] をドラッグ&ドロップで移動し **デザイン画面上**に「Button」を配置します。



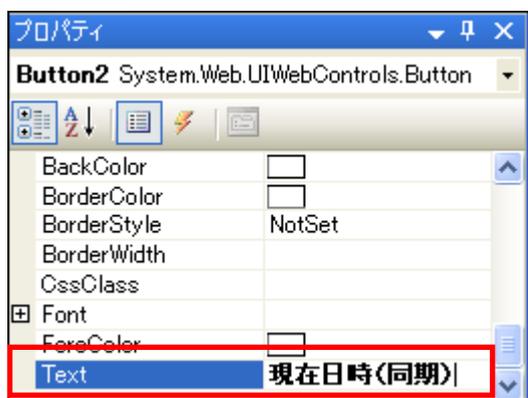
- ② デザイン画面に配置した「Button」上で右クリックし [プロパティ] を選択します。



③ 画面右下に「Button2」のプロパティが表示されます。



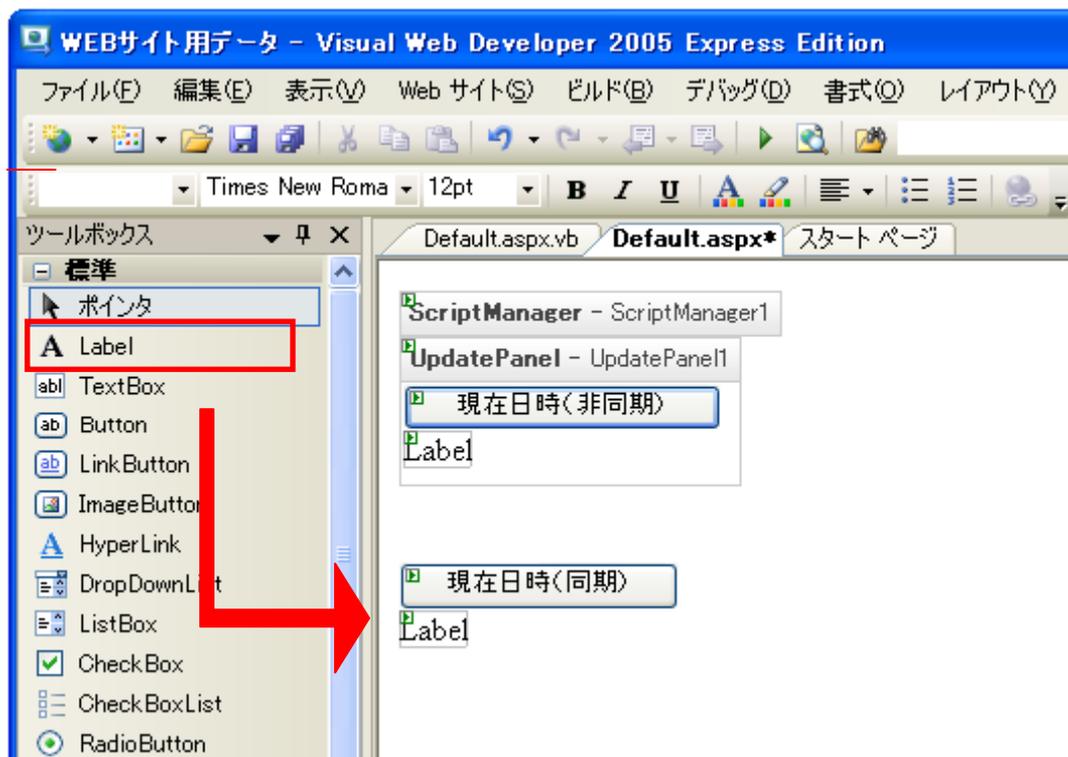
④ スクロールバーで下に移動し「Text」項目の右側のセルに「現在日時(同期)」と入力します。



⑤ 「Button」の表示名が「現在日時(同期)」に変更されます。



- ⑥ ツールボックスの[標準] のメニューから [Label] をドラッグ&ドロップで移動し デザイン画面上に「Label」を配置します。

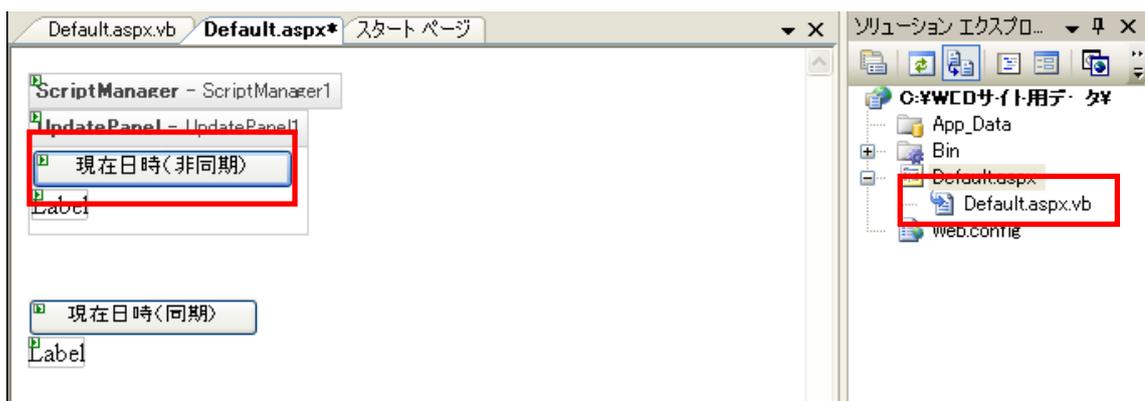


※[現在日時]ボタンの下に [Label] を配置する場合は、[Enter] キーを押して改行し調整します。

3.4 VisualBasic スクリプトコードの入力

- ① 「現在日時(非同期)」ボタンを ダブルクリック します。

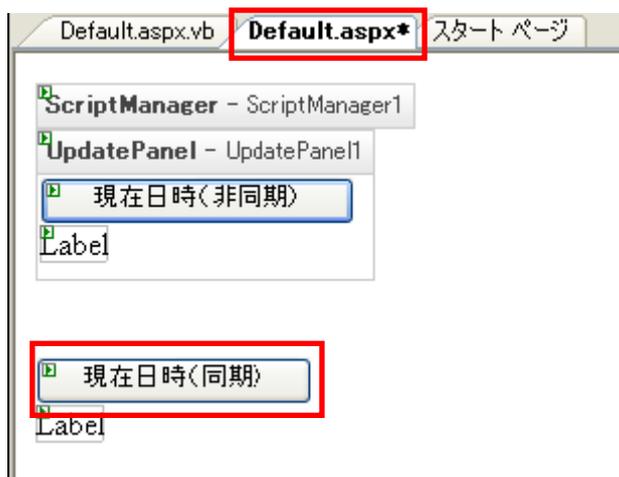
「Default.aspx.vb」が表示され Visual Basic のコードを編集する事が出来ます。



② このサンプルでは、以下のコードを入力。(Label1.Text = Now() を追加)

```
1  
2 Partial Class _Default  
3     Inherits System.Web.UI.Page  
4     Protected Sub Button1_Click(ByVal sender As Object, ByVal e As System.EventArgs) Handles Button1.Click  
5  
6         Label1.Text = Now()  
7  
8     End Sub  
9 End Class
```

③ Default.aspx タブをクリックすると、デザイン画面に戻ります。「現在日時(同期)」ボタンをダブルクリックします。



④ このサンプルでは、以下のコードを追加入力します。(Label2.Text = Now() を追加)

```
1  
2 Partial Class _Default  
3     Inherits System.Web.UI.Page  
4     Protected Sub Button1_Click(ByVal sender As Object, ByVal e As System.EventArgs) Handles Button1.Click  
5  
6         Label1.Text = Now()  
7  
8     End Sub  
9  
10    Protected Sub Button2_Click(ByVal sender As Object, ByVal e As System.EventArgs) Handles Button2.Click  
11  
12        Label2.Text = Now()  
13  
14    End Sub  
15 End Class
```

⑤ Default.aspx タブをクリックし、デザイン画面に戻ります。



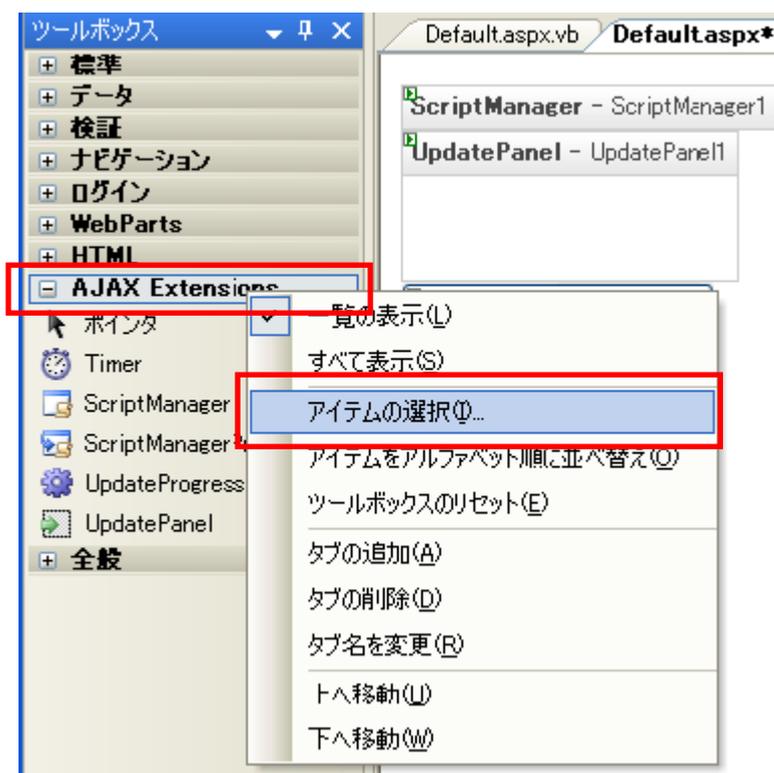
3.5 AJAX コンポーネントを配置2

① DragOverlayExtender を配置します。(ブラウザ上で画像等を移動する事が出来ます。)

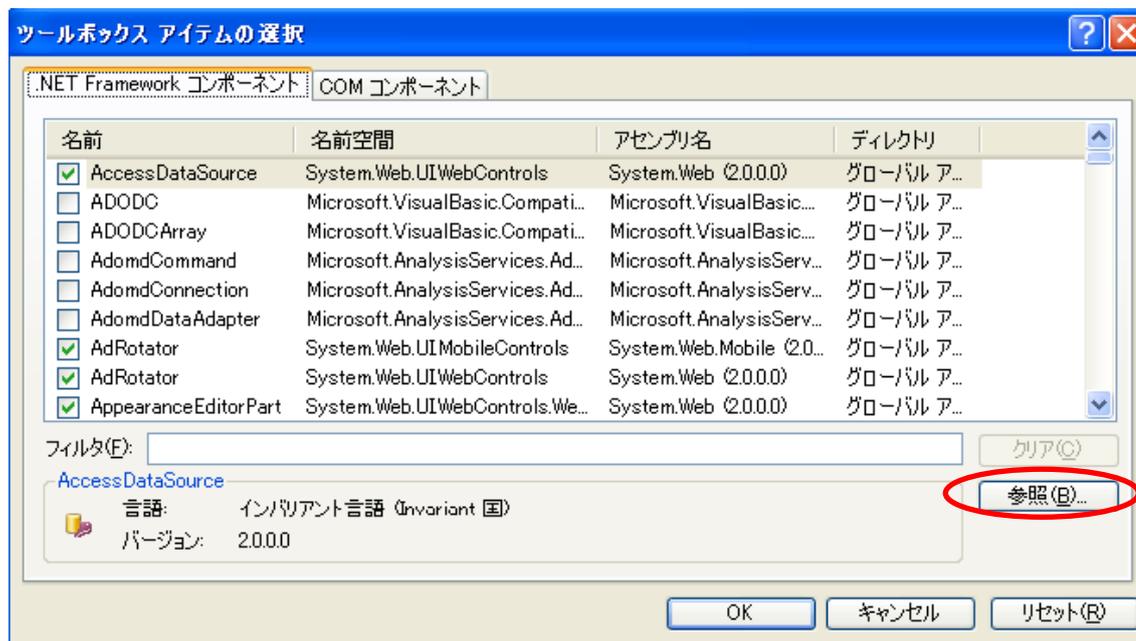
ツールボックスに「DragOverlayExtender」のアイテムが無い場合は、アイテムを追加する必要があります。

以下に追加方法を記載致します。

(1) ツールボックスの画面の「AJAX Extensions」の欄にマウスのカーソルを移動させ [右クリック] すると、メニューが表示されます。[アイテムの選択] を左クリックし選択します。



(2) ツールボックス アイテムの選択画面が表示されます。[参照] をクリックします。

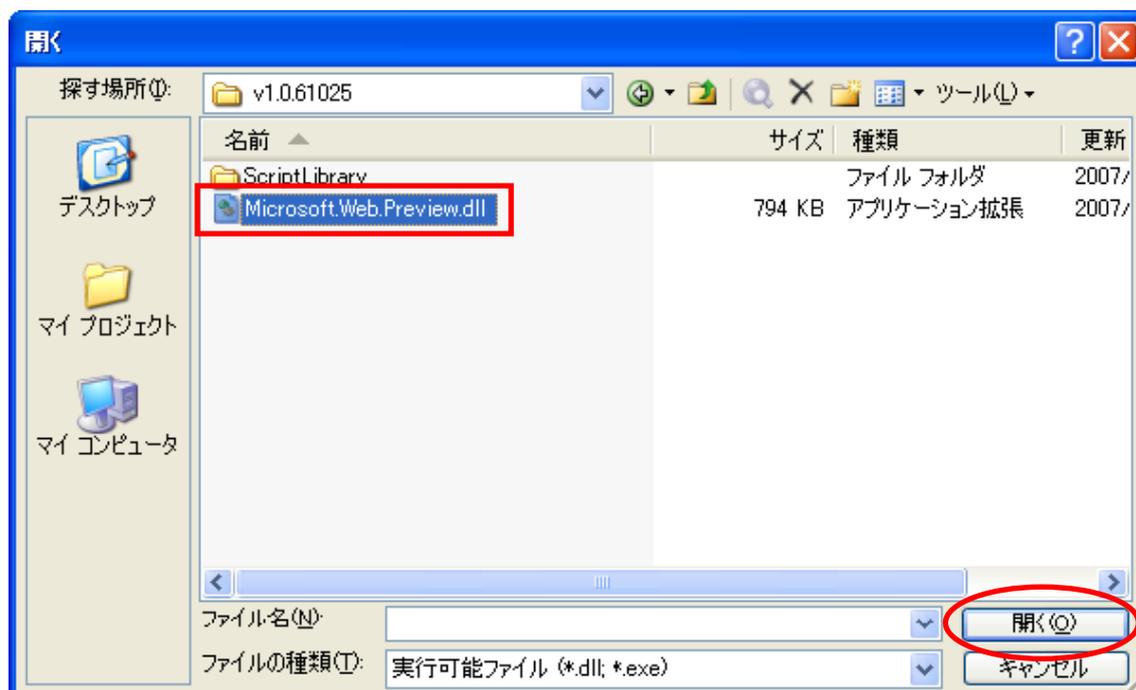


(3) ASP.NET 2.0 AJAX Futures January CTP をインストールしたフォルダを開きます。

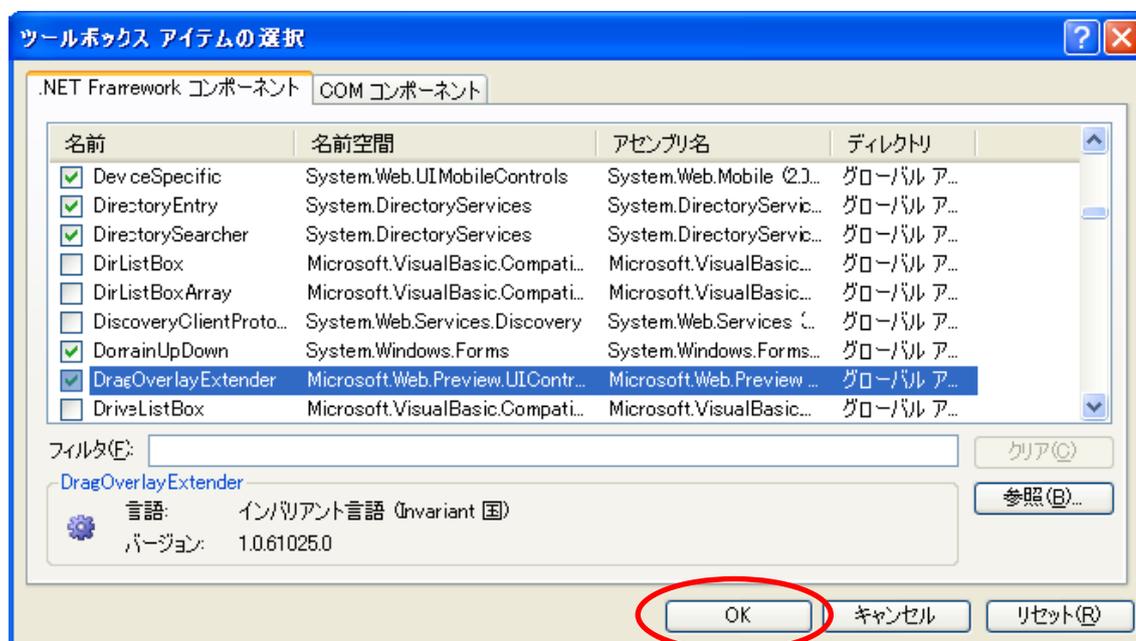
C:\Program Files\Microsoft ASP.NET\ASP.NET 2.0 AJAX Futures January CTP\v1.0.61025



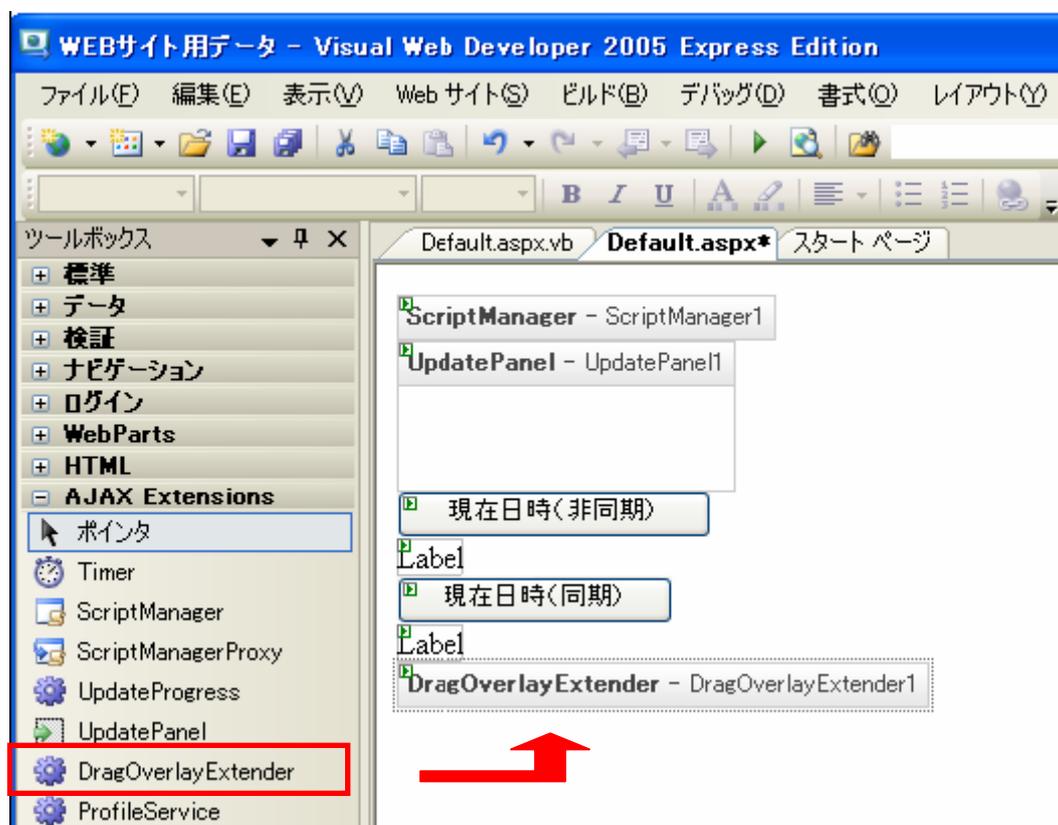
(4) 「Microsoft.Web.Preview.dll」 を選択し、[開く] をクリックします。



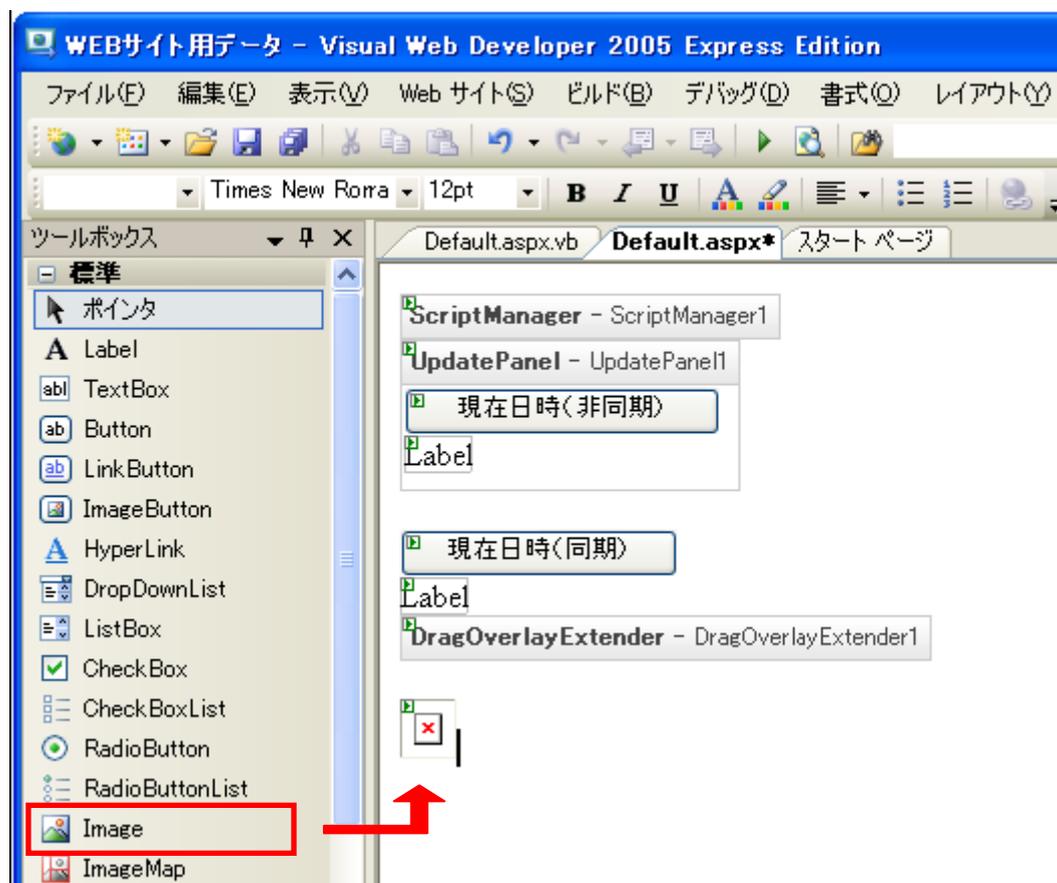
(5) 「.NET Framework コンポーネント」 に、DragOverlayExtender が追加されます。[OK] をクリックします。



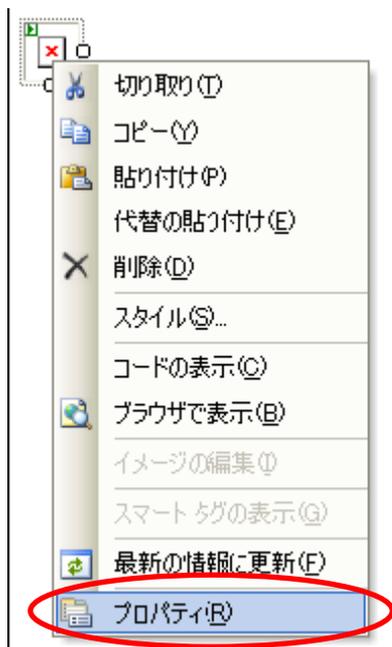
- ② ツールボックスの[AJAX Extensions] のメニューから [DragOverlayExtender] をドラッグ&ドロップで移動しデザイン画面上に「DragOverlayExtender - DragOverlayExtender1」を配置します。



- ③ ツールボックスの[標準] のメニューから [Image] をドラッグ&ドロップで移動しデザイン画面上に「Image」コンポーネントを配置します。(画像を指定していない為 画像に×印が付きます。)

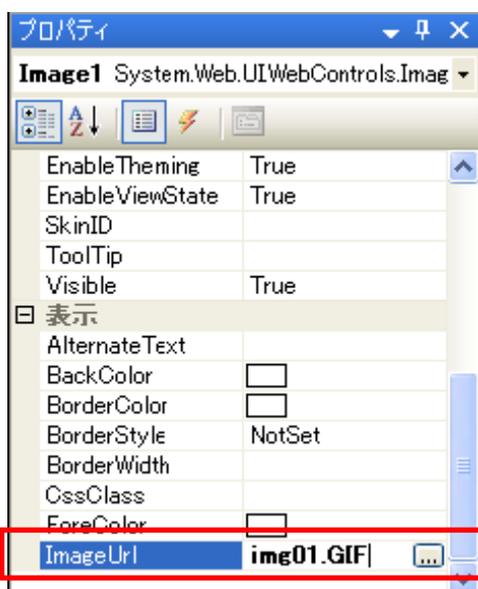


- ④ デザイン画面に配置した「Image」コンポーネント上で右クリックし[プロパティ] を選択します。



- ⑤ 画面右下に「Image1」のプロパティが表示されます。

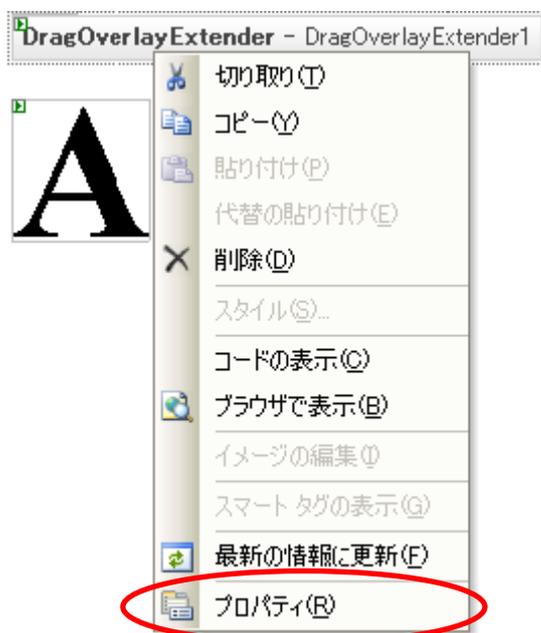
「ImageUrl」項目に 予め準備しておいた画像ファイルのファイル名を入力します。



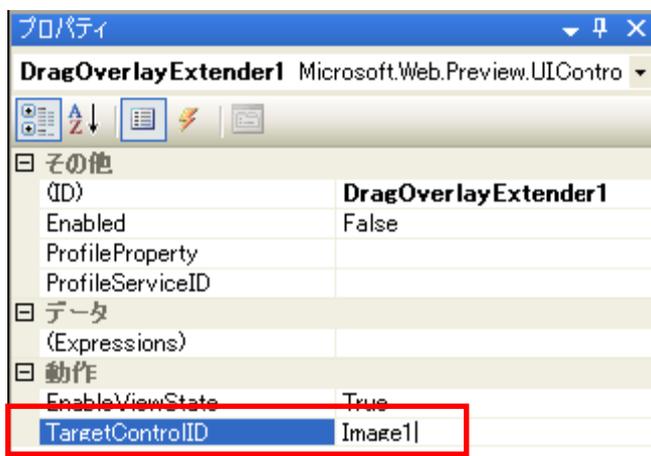
⑥ デザイン画面も変更に関連して画像ファイルが表示されます。



⑦ デザイン画面に配置した「DragOverlayExtender」コンポーネント上で右クリックし[プロパティ] を選択します。

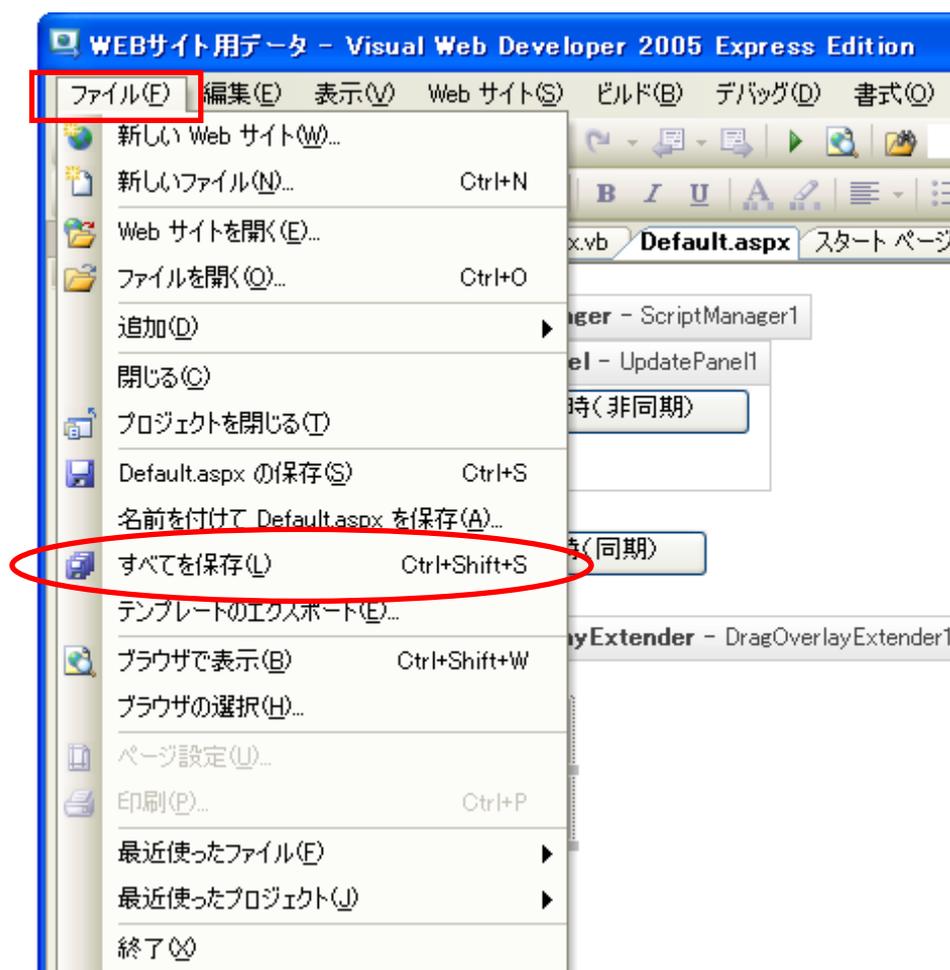


- ⑧ 画面右下に「DragOverlayExtender1」のプロパティが表示されます。
「TargetControlID」項目に Image コンポーネントに割り当てられているID の「Image1」を入力します。



3.6 作成したWeb コンテンツの保存

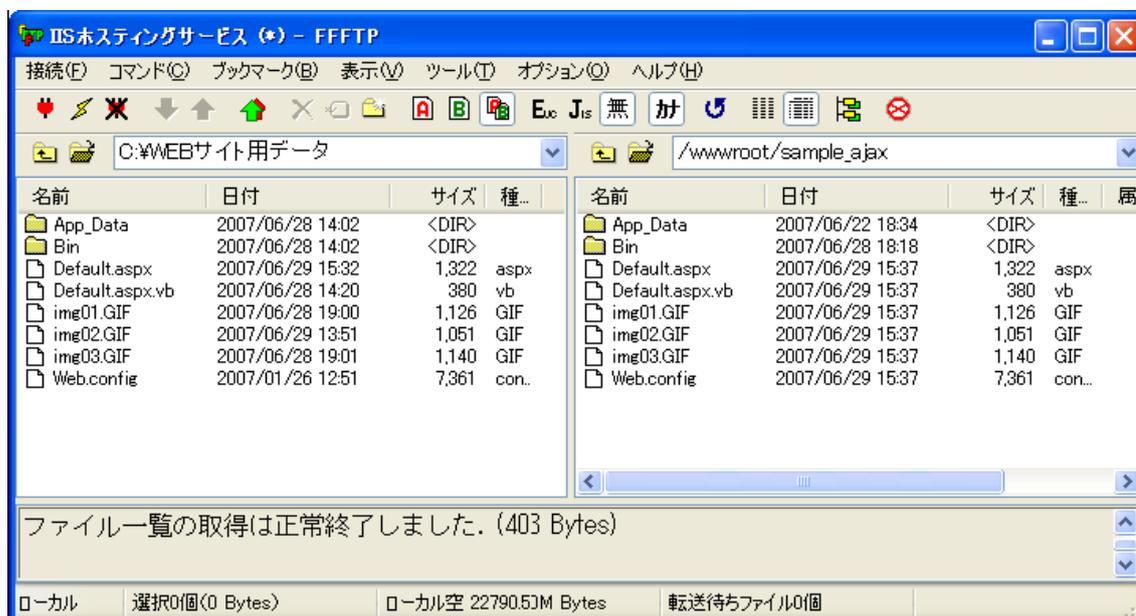
- ① Visual Web Developer 2005 のメニューの [ファイル] - [すべてを保存] をクリックしファイルを保存します。



4. Web コンテンツのアップロード

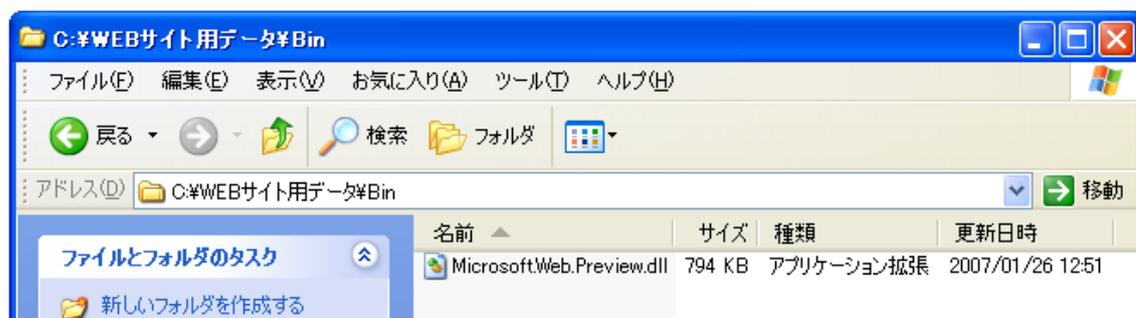
① これまでに作成したウェブコンテンツをFTP アプリケーションソフトで、アップロードします。

ウェブサーバー上の仮想ディレクトリーの実ディレクトリーに ファイルをアップロードします。



※「Bin」フォルダには [Microsoft.Web.Preview.dll] のファイルが存在します。

このファイルも必ず ウェブサーバーにアップロードします。



5. Web サイトの表示

① ウェブアプリケーションをアップロードしたフォルダを ブラウザでアクセスし、[表示] ボタンをクリックします。

http://ドメイン名/仮想ディレクトリ名/

